

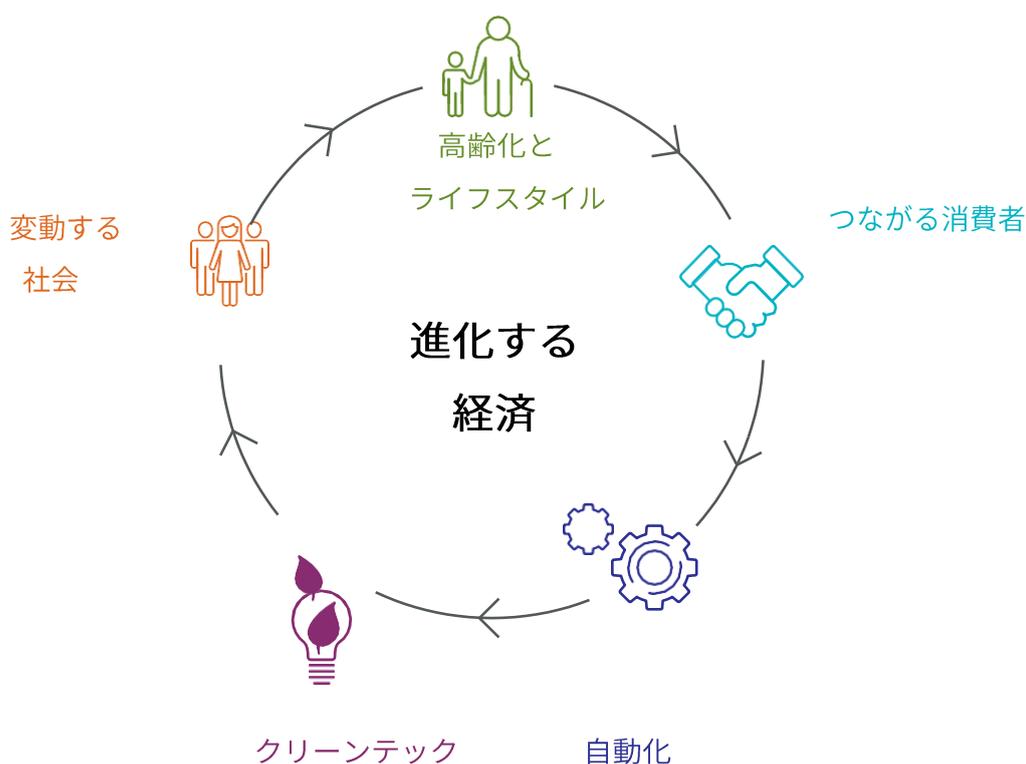
フラムリントン株式運用戦略

注目のテーマ株式

2020年は並外れた1年に

2020年は多くの意味で並外れた1年でした。世界中で人々はロックダウン（都市封鎖）に直面し、多くのビジネスが休業を余儀なくされ、深刻な混乱に見舞われた一方で、一部の分野では経済活動が加速しました。世界の株式市場は、年初に大きく変動し、僅か22日で34%下落という市場最速の下落を記録しましたが、その後は大幅に急反発し、1年を通じてみるとプラス16%となりました。

当戦略のテーマである「進化する経済」は、今後10年間にわたって世界経済に影響を与える最も強力な5つのトレンドの総称であり、世界中の企業の収益成長に引き続き影響を与えていると考えています。さらに、新型コロナウイルス・パンデミック（世界的感染拡大）は「進化する経済」を構成するトレンドの長期的見通しをさらに強化すると考えられるため、5つの全テーマへの確信度に変わりはありません。



2020年には、政府、企業、個人は多くのテクノロジーやイノベーションを導入し、「家庭」における新たな経済活動が見直されました。具体的には、在宅勤務、学習、娯楽、エクササイズ、在宅医療などが含まれます。この「家庭」での経済活動は、当戦略の投資テーマのうち、特に「**つながる消費者**」の投資テーマに属する企業群にとってポジティブとなりました。2020年には、消費者が購入頻度を高めたり、初めてオンラインショッピングを体験したりするなど、オンライン消費の普及が加速しました。Eコマースの普及率はまだ低水準にとどまっていますが、消費者の行動習慣は継続する可能性が高く、デジタル環境が更に快適になると予想されるため、今後数十年にかけて普及率が上昇するとみられます。また、1997年から2012年の間に生まれた「デジタル・ネイティブ」世代と言われるZ世代によって更に促進されるでしょう。

「**自動化**」の投資テーマについても、企業が製造ラインのさらなる効率化および自動化の必要性を認識したため、その恩恵を受けました。当社ではこのトレンドはほんの始まりに過ぎないと考えており、物流や梱包センターなど多くの分野で能力を増強すべく、多くの企業が大規模な設備投資を実施すると予想しています。このような設備投資の増加により、ロボット企業、センサーメーカー、ビジョンシステムの専門企業など含む自動化サプライヤーはその恩恵を受けるでしょう。同様に、ソフトウェア、ビッグデータ分析、半導体をより多く使用する「インテリジェント工場」が増加する可能性もあります。

「**クリーンテック**」の投資テーマでは、2020年は再生可能エネルギーへの移行と化石燃料からの脱却で重要な年になりました。例えば、2020年1月時点では、デンマークの風力発電会社オーステッドの時価総額は、英国の多国籍石油・ガス会社であるBP社の3分の1足らずでしたが、2021年に入りBPを上回っています。さらに、2020年には、欧州連合のグリーンディール、バイデン政権誕生への期待、および中国のネットゼロへのコミットメントなどクリーンテックへの追い風となる政策モメンタムが高まり、2021年もこのトレンドが続くと予想しています。政策以外についても、消費者はサステナブルな商品の利用を志向しており、企業も常に新たな持続可能なソリューションを追求しています。運用業界では、責任投資（RI）およびインパクト投資の対象となる投資先企業への投資配分を増加させています。

「**高齢化とライフスタイル**」の投資テーマは、前年比ではやや落ち着いた動きとなったものの、依然として2020年は全般的に堅調なリターンとなりました。2020年には短期的なビジネスの焦点はコロナワクチン開発に向けられた一方で、デジタルアプリケーションの増加や、多くの分野で医療へのアクセスを改善するためのイノベーションが見られました。また、2020年の重要なトレンドは、特にコロナ発生時の当初において、病院やその他の集中治療施設を避けたいという患者の要請でした。家庭でヘルスケアを受けられることは、患者の多くにとって代替となるものです。世界中で高齢化が進む中、企業が優れた柔軟性を発揮することによって、増加する医療需要への対応が可能になると考えています。

「**変動する社会**」という投資テーマでは、新興国で様々な動向が見られました。コロナウイルスはアジアの多くの国において抑制され管理されていますが、中南米には大きな影響を与えました。不透明な世界情勢が依然として続いているものの、新興国の旺盛な中間層による国内需要の増加や、それに関連した商品浸透や業界再編の

「キャッチアップ」は、長期的な新興国投資家に対して相対的に魅力的な成長機会を提供すると考えています。例えば、中国を例にとると、同国は特にコロナ感染拡大を十分に抑制させていることもあり、2020年にはアジア地域や世界との比較で力強いパフォーマンスを上げてきました。さらに、中国政府の第14次5カ年計画（2020年10月に策定）は、技術革新、消費の底上げ、環境持続可能性、特定地域における都市化、金融セクターの自由化継続などに関して強力なコミットメントを表明しています。

2020年は恐怖とパニックに見舞われた年であり、世界の株式市場は大きく乱高下しました。このような市場環境を乗り切る上ではいかなる株式投資家も完全に保護されることはないでしょうが、それでも当社は厳格な投資プロセスを守り、保有銘柄のバランスシートの堅実性確認を最優先課題としてきました。広範に見た場合、パンデミックが世界中の市場に大きな混乱をもたらし、依然としてそれが続いています。しかし、このような混乱の後には投資機会が続くため、当社の「進化する経済」投資テーマは、世界的に進みつつある長期的な変化の恩恵を受ける上で適切なポジショニングを維持していると考えています。

フラムリントン株式テーマ投資チーム

「進化する経済」の最近の洞察については以下をご覧ください

「つながる消費者」投資テーマ

フィデリティ・ナショナル・インフォメーション・サービスズ (FIS)、フィンテック・サービス企業企業は規模の経済を追求しており、金融ソフトウェア業界や決済業界では統合が引き続き重要な役割を果たしています。FISは世界的なフィンテック・サービス会社で、かつ世界最大級の決済会社であり、あらゆる規模の小売業者のクレジットカード、デビットカード、プリペイドカードの受け入れや処理を行っています。また、情報ソリューションや不正防止管理などのサポートサービスを企業に提供しています。



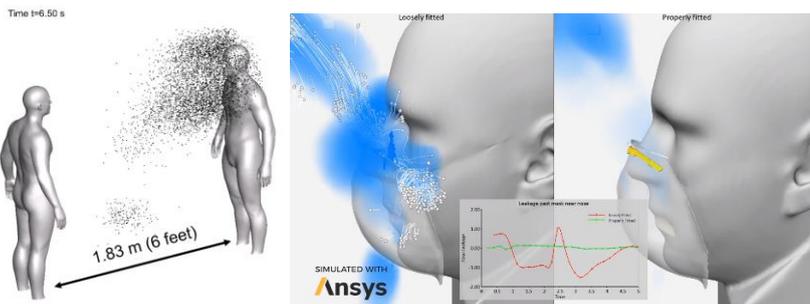
FISは小売業者に高度な決済ソリューションを提供。

画像はFISのウェブサイトから。銘柄は例示を目的としており、助言や推奨を目的としたものではありません。

「自動化」投資テーマ

アンシス、コンピューター支援エンジニアリング企業

アンシスは、物理解析全般をカバーする包括的なソフトウェアセットを提供しており、設計プロセスに必要なあらゆるエンジニアリング・シミュレーション(構造物、流体、フォトニクス、光、磁気などに関する物理解析)へのアクセスを可能にしています。同社は、ユーザーがデスクトップ上で直接設計を分析できるようにするオープンで柔軟なソリューションの開発に注力しており、設計コンセプトから最終段階のテストおよび検証に至るまで、製品開発に共通のプラットフォームを提供しています。



アンシスの流体シミュレーション。ウイルス拡散に関する風の影響とマスクの効果。

画像はアンシス提供。銘柄は例示を目的としており、助言や推奨を目的としたものではありません。

「高齢化とライフスタイル」投資テーマ

アメディシス、在宅ヘルスケア企業

アメディシスは、在宅医療、ホスピス、およびパーソナルケアサービスを提供する在宅ヘルスケア企業です。アメディシスの業務には、患者を手術や病気から回復させるためのサポート医療、末期疾患患者への支援、日常生活に支障がある人への支援などが含まれます。医療施設へ行くのを避けたい人や、高齢者施設ではなく家庭で余生を送りたい高齢者が増えていることなどから、ホームヘルスへの需要は今後加速すると予想されます。



高齢者に対する在宅健康サポートを提供。

画像はアンシスのウェブサイトから。銘柄は例示を目的としており、助言や推奨を目的としたものではありません。

「クリーンテック」投資テーマ

ボール、アルミ製パッケージ製品企業

ボールは、飲料、食品、パーソナルケア、家庭用品などの各業界に対して、革新的で持続可能なアルミパッケージ製品を提供しています。アルミおよび鉄製の飲料缶や容器が主力製品で、エアロゾル容器や航空宇宙関連製品も手掛けています。プラスチック汚染に対する消費者意識の高まりにより、企業は持続可能なパッケージ代替物の導入を迫られています。無限に再利用可能なアルミパッケージ製品を導入することで新しいソリューションが続々登場しており、優れたアルミパッケージ製品供給企業には成長の機会がもたらされています。



プラスチックカップやボトルに代わるボールのアルミソリューション。

画像はボールの2020年インバスターデー資料から。銘柄は例示を目的としており、助言や推奨を目的としたものではありません。

「変動する社会」投資テーマ

ビタソイ、豆乳メーカー

ビタソイは、植物をベースとした飲料・食品の製造・販売会社です。中国および香港で最大の豆乳メーカーで、高級RTD（容器入り）茶系飲料市場のリーダーです。同社は強力なブランディングと製品ポジショニングで際立っており、（中国人の多くが牛乳を飲むとお腹をこわす乳糖不耐症に悩んでいるため）乳製品の代替として植物由来飲料を志向する中国中間層の需要増加による恩恵を受けるとみています。



ビタソイの豆乳はバリスタコーヒーショップでも使われている。

画像はビタソイのウェブサイトから。銘柄は例示を目的としており、助言や推奨を目的としたものではありません。

アクサ・インベストメント・マネージャーズについて

アクサ・インベストメント・マネージャーズ（アクサIM）は長期的かつグローバルにわたる多様な資産に対してアクティブな運用を行う資産運用会社であり、投資によってお客様がより良い将来を確保するのに必要なソリューションを提供し、私たちが住む世界にプラスの変化を創造すべく、今日、お客様と共に努力を続けています。2020年9月末時点で約8,300億ユーロの運用資産残高を有し、20カ国28拠点において2,360名余の従業員を擁し、グローバルな事業を展開しています。アクサIMは世界最大級のフィナンシャル・プロテクションと資産運用グループであるアクサ・グループの一員です。

投資リスク及び費用について

当社が提供する戦略は、主に有価証券への投資を行いますが、当該有価証券の価格の下落により、投資元本を割り込む恐れがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動によっては投資元本を割り込む恐れがあります。したがって、お客様の投資元本は保証されているものではなく、運用の結果生じた利益及び損失はすべてお客様に帰属します。

また、当社の投資運用業務に係る報酬額およびその他費用は、お客様の運用資産の額や運用戦略（方針）等によって異なりますので、その合計額を表示することはできません。また、運用資産において行う有価証券等の取引に伴う売買手数料等はお客様の負担となります。

【ご留意事項】

当資料は、金融商品取引法で定義されている適格機関投資家を対象としております。

当資料は、アクサ・インベストメント・マネージャーズの情報提供に基づき、アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社が翻訳・作成した資料です。

当資料は、情報提供を目的としたものであり、特定の有価証券その他の投資商品についての投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成しておりますが、正確性、完全性を保証するものではありません。当資料の内容は、作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に記載された運用実績等に関するグラフ・数値等はいくまでも過去の情報であり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

当資料を事前の了承なく複製または配布等を行わないようにお願いします。

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社

金融商品取引業者 登録番号: 関東財務局長（金商）第16号

加入協会: 一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、日本証券業協会

Ref-19722